

総務教育常任委員会資料

(令和元年10月7日)

【 件 名 】

- 令和3年度県立高等学校の学級減について（高等学校課）……………1

教 育 委 員 会

令和3年度県立高等学校の学級減について

令和元年10月7日
高等学校課

今後も続く中学校卒業生数の減少に対応するため、次のとおり令和3年度に学級減を実施します。

鳥取商業高等学校商業学科及び米子東高等学校普通学科普通科普通コースにおいて各1学級減を行う。

1 理由

(1) 鳥取商業高等学校の学級減 (5 → 4 学級)

- 鳥取城北高校 (H28)、米子松蔭高校 (H30) では商業科の募集停止を行っているが、鳥取城北高校の募集停止に伴う影響がその後も小さいことから、商業科の志望者の減少が推測される。
- また東部地区 (学年3学級以下の高校を除く) では、前回の学級減から最も間隔が空いているのは同校である。また、同校は商業科のみの単科高校であり、学級減を実施しても学科が継続することで生徒への影響も小さいことから、同校の1学級減を実施する。

(2) 米子東高等学校の学級減 (8 → 7 学級)

- 全県で唯一の8学級を有する大規模校のため1学級減じて7学級にすることで、全県の普通科大規模校の学校規模のバランスを図る。
- 同校は、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受けているが、これにより1～3年次の全ての生徒に探究活動が課されることとなっている。SSHでは、個人またはグループで研究等を進め、3年生は論文発表に向けた翻訳や、さらに探究活動を深化していくため指導教員の負担が大きい。このため生徒数を減ずることにより、普通科改革のパイロット校として探究活動の充実を図り、よりきめ細やかな指導を可能とする。
- また西部地区の普通科高校で前回の学級減 (H15) から最も間隔が空いていることから同校の1学級減を実施する。

2 これまでの学級減の状況

(1) 東部地区の専門高校 (1 学年3 学級以下の小規模校を除く) の学級減 (H22 以降)

学校名	H22 年度		H23 年度		H30 年度		R3 年度
鳥取商業	▲1 (5 学級)	➡		➡		➡	▲1 (4 学級)
鳥取工業					▲1 (4 学級)		
鳥取湖陵			▲1 (5 学級)				

(2) 西部地区の普通科高校の学級減 (H15 以降)

学校名	H15 年度		H23 年度		H31 年度		R3 年度
米子東	▲1 (8 学級)	➡		➡		➡	▲1 (7 学級)
米子西					▲1 (7 学級)		
境	▲1 (6 学級)		▲1 (5 学級)				

(3) 県内普通科高校の学級数の現状 (令和元年度時点)

区分	学校名 (学級数)	区分	学校名 (学級数)	区分	学校名 (学級数)
東部	鳥取東 (7 学級)	中部	倉吉東 (5 学級)	西部	米子東 (8 学級)
	鳥取西 (7 学級)		倉吉西 (3 学級)		米子西 (7 学級)
	岩美 (3 学級)		鳥取中央育英 (4 学級)		境 (5 学級)
	八頭 (7 学級)				

3 今後の予定

令和元年10月 定例教育委員会に議案として提出 (議決後、関係機関に通知)